

地域中田で防犯診断の安全・安心のために

安心して暮らせる地域社会の実現を目的に9月25日、中田地区防犯指導隊による浅水新田行政区99世帯を対象にした「防犯診断」が実施されました。これは「全国地域安全運動」の実施に先立ち、空き巣や車上ねらいなど「住宅侵入犯罪」の被害を防止しようといわれたもので、佐沼警察署中田交番の協力の下、防犯指導隊員が各家庭を訪問し、住宅の玄関や窓の施錠、鍵の保管場所など全19項目をチェックし、それぞれの家庭ごとに被害に遭わないよう注意を呼び掛けました。



▲被害を防ぐ19の項目について、各家庭ごとにチェック

安全石越で全国地域安全運動石越地区大会なまちづくりは地域から

地域内の連携により安心して暮らせるまちづくりを目指すと10月15日、石越地域の市民を対象に全国地域安全運動石越地区大会が開催されました。当日は、防犯診断のほか児童の連れ去り事件への対応訓練が行われました。サングラスにマスク姿の男が児童に近寄り、言葉巧みに車に乗せようとしている状況を想定。子どもの「助けて」の声に隊員が駆けつけ、警察に事件の内容や逃げた犯人の特徴などを通報しました。参加者は「実際の事件に遭遇した時に備え、大変良い体験ができた」と話していました。



▲被害児童から、事件の内容や犯人の特徴について聞き警察に通報

笑顔津山公民館で「フラダンス教室」で楽しく踊りましょう

つやまモクモクスポーツクラブのフラダンス教室が10月3日、会員10人が参加し開催されました。この教室は津山公民館で月に2回ずつ開かれていましたが、震災の影響で今年度は今回が2回目の開催となりました。参加者は、基本のステップや手の動きを確認したり、新しい振り付けを覚えたりしながら何度も繰り返し練習しました。「フラダンスは年齢も性別も関係なく、誰でも楽しめる踊りです」という講師の先生の言葉どおり、参加者は明るくいきいきとした笑顔で、楽しそうに踊っていました。



▲ゆったりとした音楽にのせ、フラダンスの動きをレッスン



▲大きく育ったマイタケを、1株1株丁寧に収穫しました

おいしいマイタケを味わって東和米川小児童がマイタケ収穫、販売

米川小みどりの少年団（5、6年生35人）によるマイタケの収穫作業が10月11日、東和「きのこの森」で行われました。この事業は、米川生産森林組合と連携し、マイタケを収穫・販売するもので、子どもたちは、米川生産森林組合職員の指導の下、大きく育ったマイタケを一生懸命に収穫しました。収穫したマイタケは、子どもたちの手でバック詰めをし、市役所や登米村田製作所などで400g入り1パックを500円で販売しました。売上金の一部は東日本大震災への義援金として寄付されます。

運転者登米で「交通事故茄子（無し）作戦」に安全運転を呼び掛け

登米地区交通安全母の会と登米署が9月27日、JA登米給油所前の交差点で、ドライバーにナスを配って安全運転を呼び掛ける「交通事故茄子（無し）作戦」を実施しました。当日は、母の会と登米署などから13人が参加。登米署員が停止を求めた車に、「交通安全をお願いします」と呼び掛けながら3個ずつ入れたナスの袋と交通事故防止のチラシを配りました。登米地区交通安全母の会では、秋の交通安全週間中、ナスの収穫時期に合わせて毎年この活動を実施しています。



▲採れたてのナスを配って「交通事故無す」を呼び掛けました

大震災から学ぶ協力の重要性南方で「災害ボランティア研修」

東日本大震災から災害ボランティア活動の重要性を学ぼうと、南方公民館ホールを会場に9月27日、災害ボランティア研修が開催されました。講師には、南三陸町ガイドサークル汐風代表の鴻巣修治（しゅうじ）さんを招き「東日本大震災に学んだこと伝えることの使命」と題した講演が行われました。講演では、巨大津波の惨状や、南三陸町の復興へ向けた新しい街づくりの様子について説明が行われ、参加者は、災害ボランティアの重要性を再確認していました。



▲体験をもとにした講演に、参加者は真剣に聞き入っていました